



OpenAI の新モデル「Shallotpeat」と「Garlic」について

OpenAI は現在、Google の Gemini 3 との激化する競争に対応するため、コードネーム「Shallotpeat」と「Garlic」という 2 つの新しい AI モデルを開発中です。これらのモデルは、OpenAI が直面する技術的な課題に対応しながら、市場での競争力を取り戻すための戦略的なイニシアティブを代表しています。[\[1\]](#)[\[2\]](#)

Shallotpeat について

プロジェクトの背景と目的

Shallotpeat は、OpenAI の根本的な技術課題に対応するための基礎研究プロジェクトです。OpenAI の最高経営責任者（CEO）である Sam Altman は、2025 年 11 月の内部メモで、GPT-5 開発中に従来のスケーリング最適化手法が機能しなくなったことを明かしました。つまり、より大きなモデルと多くのデータという従来のアプローチは、一定の規模を超えると予想通りのパフォーマンス改善をもたらさなくなってしまったのです。[\[3\]](#)[\[4\]](#)

コードネームの意味

「Shallotpeat」というコードネームは、OpenAI の抱える問題を象徴的に表現しています。シャロット（玉ねぎの一種）はピート土では良く成長しないという事実になぞらえて、OpenAI の「貧困な土壤」（つまり、基礎となるモデルの訓練方法の欠陥）を改善する必要があることを示しています。[\[3\]](#)[\[4\]](#)

技術的な革新

Shallotpeat の主な焦点は、事前学習（pre-training）プロセスにおける根本的なバグとデータ処理方法を修正することです。OpenAI は Gemini 3 の成功を認識し、特に Google の混合専門家（Mixture of

Experts) アーキテクチャに用いられた先進的な事前学習手法に注目しています。Shallotpeat プロジェクトでは、以下の要素に焦点が当てられています:[\[1\]](#)[\[3\]](#)[\[5\]](#)[\[6\]](#)

- より強固な推論能力の開発
- 長文理解の向上
- 幻覚率の低減
- より正確な問題解決

戦略的位置づけ

Shallotpeat は直接的な製品リリース予定なしで開発されており、むしろ他のモデルの基盤となるための基礎研究として機能します。Altman は、短期的には競争で後塵を拝しても、長期的な野心的なプロジェクト (AI リサーチの自動化、超知能へのアプローチなど) に注力することの重要性を強調しました。[\[2\]](#)[\[3\]](#)[\[4\]](#)

Garlic について

モデルの位置づけと目的

Garlic は、Shallotpeat プロジェクトの成果を活用する製品志向のモデルです。2025 年 12 月 1-2 日に報道されたところによると、OpenAI の最高研究責任者 (CRO) Mark Chen が、社内の同僚に Garlic のモデルについて通知し、このモデルが開発中の現段階でも、Google の Gemini 3 と Anthropic の Opus 4.5 を凌駕していることが社内評価で示されているとのことです。[\[2\]](#)[\[7\]](#)[\[5\]](#)

技術的な革新

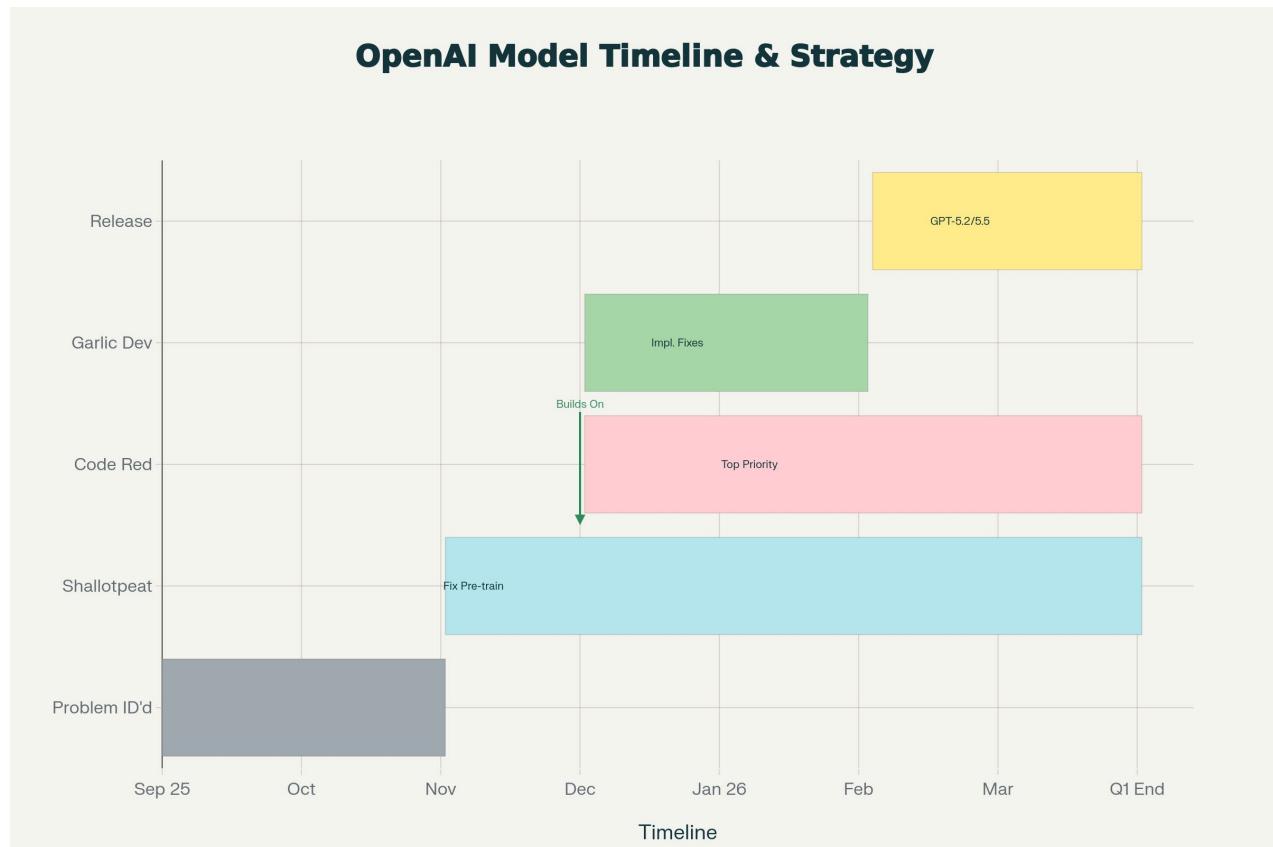
Garlic の最も注目すべき技術的成果は、より小さなモデルフレームワークに大規模モデルの知識を効果的に注入できるようになったことです。これは以下の利点をもたらします:[\[5\]](#)

- より小さいモデルサイズでありながら大規模モデルと同等の知識を保有
- 推論コストの削減
- 訓練時間の短縮
- 運用効率の向上

パフォーマンスと競争力

内部ベンチマークの報告によれば、Garlic は以下の分野で Gemini 3 と Opus 4.5 を上回っています。^{[2][5]}

- **コーディング能力**：プログラミングおよびデバッグタスクにおいて優れたパフォーマンス
- **推論タスク**：複雑な論理分析と問題解決能力
- **効率性**：より小さなモデルサイズで高いパフォーマンスを実現



OpenAI's Shallotpeat and Garlic Model Development Timeline and Competitive Context

リリース予定と命名

Mark Chen は、Garlic のバージョンをできるだけ Wei かく、2026 年初頭までに GPT-5.2 または GPT-5.5 として発表することを目指していると述べています。ただし、まずは広範な後続訓練 (post-training) とセーフティ評価を完了する必要があり、実際のリリースタイミングについては不確実性が残っています。^{[2][5]}

戦略的背景 : Code Red イニシアティブ

競争状況の激化

OpenAI は 2025 年 11 月下旬から 12 月初旬にかけて、Google の Gemini 3 の台頭による重大な競争上の脅威に直面しています。Gemini 3 は複数のベンチマークテストで GPT-5 を上回り、Google の月間アクティブユーザー数は 7 月の 4 億 5,000 万人から 10 月の 6 億 5,000 万人に増加しました。¹³

企業戦略の転換

これに応じて Altman は、OpenAI 全体で「Code Red」と呼ばれる最高レベルの緊急対応を宣言しました。この戦略転換には以下の要素が含まれています:¹⁴

- **リソースの集中** : ChatGPT の改善に全力を投入
- **計画の延期** : 広告機能、ショッピングアシスタント、ヘルスケアエージェント、Pulse パーソナルアシスタントなどのプロジェクトを後回しに
- **迅速なリリース** : 新しい推論モデルを 1 週間以内にリリースする予定を発表

技術的な相違と関係性

Shallotpeat と garlic は段階的に関連しています。Shallotpeat は基礎的な研究と開発に注力し、事前学習における構造的な問題を根本から解決しようとしています。一方、Garlic はこの研究成果を直接利用して、商用可能な製品モデルとして機能することを目指しています。^{15 16}

事前学習対後続訓練のアプローチ

OpenAI のこれまでの戦略は、より大規模な基盤モデルと集約的な後続訓練（特に強化学習フィードバックを用いた）に依存していました。しかし、Shallotpeat プロジェクトは、Google の Gemini 3 の成功が事前学習の重要性を再び実証したことに対応して、事前学習における基本的な革新に回帰しています。¹⁷

コスト効率性の向上

Garlic モデルの最大の利点の一つは、より小さいモデルサイズで大規模モデル相応のパフォーマンスを達成できることです。これは推論時のコストを大幅に削減し、OpenAI のビジネスモデルの持続可能性を向上させるうえで、戦略的に重要です。¹⁸

市場への影響と今後の展望

競争ダイナミクスの変化

Shallotpeat と garlic の開発は、AI 市場における競争ダイナミクスの大きな転換を示しています。

OpenAI が直面する課題は単なる一時的なベンチマークでの遅れではなく、基本的な訓練方法論における根本的な問題であることが明らかになりました。¹⁶

業界全体への示唆

これらのモデルの開発は、AI 業界全体に重要なシグナルを送っています。従来のスケーリング則が限界に達しつつある一方で、アーキテクチャの革新、データの質、訓練方法の工夫によって、パフォーマンスの向上が依然として可能であることを示しています。¹⁶

OpenAI の長期戦略

Altman の内部メモから明らかなように、OpenAI は Shallotpeat のような基礎研究に投資しながら、AI リサーチの自動化や超知能の達成などのより野心的な長期目標に向かっています。Garlic は短期的な競争対応であり、より重要な長期的な取り組みの並行実行と位置づけられています。^{13][4]}

結論

OpenAI の Shallotpeat と Garlic というコードネームの 2 つのモデルは、Google の Gemini 3 との激化する競争に対応するための多層的な戦略を代表しています。Shallotpeat は基礎的な事前学習プロセスの根本的な改善に焦点を当て、一方 garlic はこれらの革新を直接活用した製品志向のモデルとして 2026 年初頭のリリースが見込まれています。これらのイニシアティブは、OpenAI が直面する技術的課題がいかに深刻であるか、そして企業がそれにどのように対応しているかを示す重要な事例です。同時に、AI の進化において、スケーリングだけでなく基本的なアーキテクチャとデータの質が依然として最も重要な要素であることを改めて示しています。^{11][2][5][6]}

**

1. <https://voice.lapaas.com/openai-new-model-is-codenamed-shallotpeat/>

2. <https://www.investing.com/news/stock-market-news/openai-develops-new-model-codenamed-garlic-to-compete-with-google--the-information-93CH-4386486>
3. <https://the-decoder.com/as-google-pulls-ahead-openais-comeback-plan-is-codenamed-shallotpeat/>
4. <https://www.aiplanetx.com/p/openai-shallotpeat-targets-gemini-3>
5. <https://news.futunn.com/en/post/65697011/openai-accelerates-the-development-of-a-new-model-garlic-in>
6. <https://xpert.digital/en/project-shallotpeat/>
7. <https://x.com/koltregaskes/status/1995886137865310315>
8. <https://timesofindia.indiatimes.com/technology/tech-news/googles-gemini-forces-openai-ceo-sam-altman-send-code-red-warning-to-employees-two-years-after-chatgpt-did-same-to-google/articleshow/125718598.cms>
9. <https://techcrunch.com/2025/04/23/openai-seeks-to-make-its-upcoming-open-ai-model-best-in-class/>
10. https://www.reddit.com/r/OpenAI/comments/1pcd296/garlic_openais_new_small_model_that_beats_gemini/
11. <https://the-decoder.com/altman-memo-new-openai-model-coming-next-week-outperforming-gemini-3/>
12. <https://yoroziupsc.com/uploads/1/3/2/5/132566344/254508b1c14b8891c5ff.pdf>
13. <https://garlicmodel.com>
14. <https://www.financialexpress.com/life/technology-gemini-3-vs-gpt-5-1-why-ceo-sam-altman-thinks-that-openai-is-in-trouble-4053303/>
15. <https://www.searchenginejournal.com/openai-declares-code-red-to-improve-chatgpt-amid-google-competition/562310/>
16. <https://jp.investing.com/news/stock-market-news/article-93CH-1344100>
17. <https://x.com/hikawoai/status/1991801328180580660>
18. <https://nypost.com/2025/12/02/business/openais-sam-altman-declares-code-red-to-improve-chatgpt-as-google-catches-up/>
19. <https://aclanthology.org/2025.findings-emnlp.877.pdf>
20. https://proceedings.neurips.cc/paper_files/paper/2024/file/8b970e15a89bf5d12542810df8eae8fc-Paper-Conference.pdf
21. https://www.reddit.com/r/singularity/comments/1gnlx7j/rate_of_gpt_ai_improvements_slows_challenging/
22. <https://www.arxiv.org/pdf/2509.24012.pdf>

23. <https://the-decoder.com/google-deepmind-unveils-an-ai-model-that-acts-as-a-virtual-satellite-for-mapping-the-entire-planet/>
24. <https://markets.financialcontent.com/wral/article/tokenring-2025-12-2-the-ai-arms-race-intensifies-openai-declares-code-red-as-googles-gemini-3-reshapes-the-landscape>
25. <https://arxiv.org/html/2509.24012v1>
26. <https://forum.gnoppix.org/t/as-google-pulls-ahead-openais-comeback-plan-is-codenamed-shallotpeat/2854>
27. <https://www.vellum.ai/blog/gpt-5-benchmarks>
28. <https://www.sorryengineering.com/p/pre-training-finetuning-post-training>
29. https://www.reddit.com/r/singularity/comments/1pckrj3/openais_new_model_is_codenamed_garlic_internal/
30. <https://www.datacamp.com/blog/gpt-5>
31. <https://macaron.im/blog/post-training-llm-techniques-2025>
32. https://www.reddit.com/r/AIGuild/comments/1p5137l/shallotpeat_openais_bold_counterstrike_as_google/
33. <https://binaryverseai.com/gpt-5-benchmarks/>
34. <https://www.interconnects.ai/p/the-state-of-post-training-2025>
35. https://www.reddit.com/r/ChatGPT/comments/1pcko9u/breaking_openais_new_model_is_codenamed_garlic/
36. <https://www.axios.com/2025/07/24/openai-gpt-5-august-2025>